

起点の大麻町大谷は窯どころ。大がめを作ること有名な大谷焼の窯元が数軒ある。いずれも古くは山の斜面を利用した登り窯で、この地に阿波蜂須賀藩の中山窯が築かれたのがはじまり。撫養街道を歩くこの平坦な道が続き歩きやすい。札所や山に近い所では、冬ならジョウビタキ、カシラダカ、アオジなど、夏にはホオジロ、ウグイス、コジュケイなどの野鳥が見られる。レンコンの生産で有名な大麻町の湿地帯では、2015年頃からコウノトリの姿が目撃されるようになり、豊かな自然を体感できる。古墳群、遍路寺など随所に阿波の歴史を楽しめる。

距離 9.0 km	所要時間 2 時間
体力レベル 山歩きの経験がなくても大丈夫。履き慣れた歩きやすい靴で歩こう。	技術レベル 高低差が少なく、足場の良い比較的歩きやすい道が続く。
スタート地点までのアクセス	最寄り駅・バス停
「県道12号」を経由して『大麻町大谷』へ。	<p>◎START地点</p> <p>鉄道 JR鳴門線『阿波大谷駅』から徒歩約7分 バス 徳島バス『大谷』からすぐ</p> <p>◎GOAL地点</p> <p>鉄道 JR高徳線『板野駅』から徒歩約10分 バス 徳島バス『板野駅南』から徒歩約10分</p>



四国八十八ヶ所霊場三番札所『金泉寺』



大谷川の橋を渡り、右へ曲がる



住宅街の車道を進む



標識が見えたら右へ



特色  
コウノトリが飛来する豊かな自然と、阿波の歴史ロマンを感じられる道。

区間  
大麻町大谷～東林院～阿波神社～土御門上皇火葬塚～  
霊山寺～極楽寺～諏訪神社～金泉寺

## 阿波歴史のみち



## コース周辺の見どころ

## MAP A 東林院



霊山寺の奥の院で“種まき大師”として知られる。弘法大師が霊山寺に留まっている間に、みずから米や麦の種をまいて農業を奨励する一方、疫病や干害の退散を祈念させたと伝えられている。

## MAP B 阿波神社



第八十三代土御門天皇を御祭神として奉祀する格式高い神社。承久の乱（承久3年、1221年）に土佐の国に遷幸され、さらに貞応2年再び阿波の国に遷幸、そして寛喜3年（1231年）にこの地で崩御された。

## 踏破認定写真 撮影ポイント



踏破制度



## 霊山寺の山門

## MAP C 天河別神社古墳群



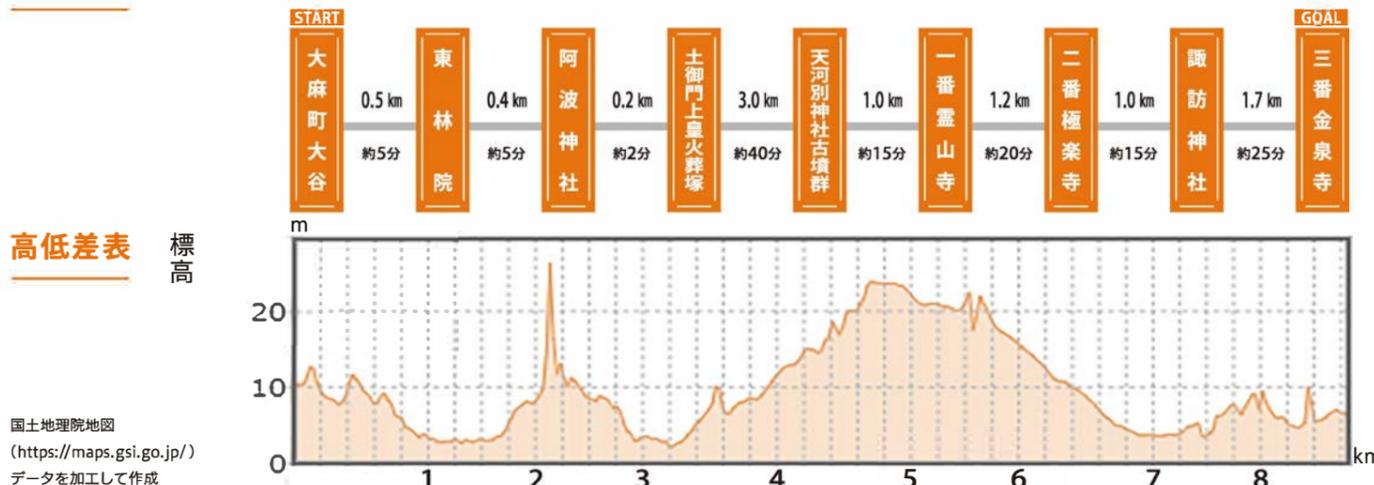
前方後円墳2基を含む11基の古墳から構成され、半三角縁二神二獣鏡など3面の船載鏡をもつ。古墳時代後期のもので、本古墳群のすぐ東に中内遺跡、東北に宝幢寺古墳、西に萩原墳墓群がある。

## MAP D 特別天然記念物コウノトリ飛来地



国の特別天然記念物に指定されているコウノトリが、兵庫県より飛来し、大麻地区にすんでいる。周辺は県により「鳴門コウノトリ鳥獣保護区」に指定され、コウノトリの暮らしを見守っている。

## 里程表



## ウォーキングガイド

## 歩くときの準備について

- ・体力に合うコースを選び、行き帰りの交通手段も調べて余裕のある日程を組もう。
- ・体力や山登りの技術に自信がない方は、一部分のみを選んで歩く方法もある。
- ・天気予報に注意し、悪天候が予想される場合は無理をせず予定を変更しよう。
- ・気温に合った防寒着や、急な天候の変化に備える雨具を忘れずに。

## 野山を歩くときのマナー

- ・空きカンやゴミは投げ捨てたりせず、ゴミ袋に入れて持ち帰ろう。
- ・山火事の原因となるタバコの投げ捨てや焚き火は絶対にやめよう。
- ・果樹園や農園の農作物、野生動植物を傷つけたり取ったりするのはやめよう。

## 危険な動植物にご注意を

- ・山道には人間に危害を及ぼす生き物がいる。ハチやマムシ、マダニに注意を。

## 問い合わせ先

徳島県 グリーン社会推進課 088-621-2263  
鳴門市 観光振興課 088-684-1157  
板野町 建設課 088-672-5996



コース内には案内板、道順を示す標識、文化財などの解説板、各所に休憩所を設置している。設備の破損や道の異常箇所に気付いた場合は上記の四国のみち担当課にご連絡を。



	四国のみち
	県道
	休憩所
	バス停
	トイレ
	駐車場
	踏破認定写真撮影ポイント

**四国のみちとは**  
四国のみち(四国自然歩道)は、全長約1540kmの長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市、終点は徳島県板野郡板野町。四国霊場や、各地に点在する身近な自然や歴史に親しみながら、歩いて四国一周することができる。  
この地図は国土院発行2.5万分1地形図を「四国のみち」ウォーキングルートに基づき編集加工したものである。